

全国で活躍した2人が喜びを報告

8月30日、都城高専3年黒木沙織さん(テニス・3連覇)、細野中3年熊添銀次郎さん(柔道・ベスト8、敢闘賞)が、市長に全国大会の結果を報告しました。熊添さんは「高校でも柔道を続けてチャンピオンを目指したい」と語りました。



NPO法人あかとんぼが清掃活動

9月15日、岩瀬橋から岩瀬川沿道で清掃活動が行われました。NPO法人あかとんぼの会員ら約30人が参加し、沿道の草刈りやごみ拾いを実施。山口義輝理事長は「今後は河川の美化活動もしていきたい」と話していました。



秋の夜長におはなし会で本を楽しむ

9月21日、市立図書館で秋のおはなし会が開催されました。親子連れなど34人が参加。虫の音をBGMに、宮澤賢治やアンデルセンの名作童話などが朗読され、参加者は静かに聞き入っていました。



偉大な文学者 黒木清次氏をしのぶ

9月23日、市文化連盟主催の黒木清次文学碑祭がすきむらんどで開催されました。黒木氏は「龍舌蘭」の創刊や、宮崎県文化賞を受賞するなどした旧須木村出身の文学者。記念碑への献花や、詩の入賞作品の表彰などがあり、氏をしのびました。



今年も赤い羽根共同募金始まる

10月1日、赤い羽根共同募金メッセージ伝達式が市長応接室で行われました。社会福祉協議会種子田與市長が「お互いの自立を支え合う地域を築いていくことが重要」と厚生労働大臣と社会福祉法人中央共同募金会長のメッセージを代読しました。



「知らない人についていかない」、「てげてげ運転をしない」などの決意が読まれた大会宣言

安心安全なまちを目指して 地域一丸となって取り組もう

10月3日、第11回交通安全・地域安全・暴力追放1000人大会が文化会館で開催されました。小林市と高原町の住民や関係者約1,000人が参加。交通安全や防犯活動に貢献した個人や団体の表彰のほか、子ども、若者と高齢者代表が安心安全なまちに取り組む宣言文を読み上げました。



式典では、三松中2年の小齊平穂英さん【写真右】と小林小6年の大久津知里さん【写真左】が「平和への想い」を発表しました

この平和が続くことを祈って 忠霊塔で戦没者追悼式

10月5日、戦没者追悼式が忠霊塔前広場で行われました。塔には約1,600人の戦没者が奉られており、式典には約800人が参列。遺族を代表して遺族協会の岡原信夫会長が「私たちは、命をかけて戦った英霊を追悼し、苦労を重ねた先人を忘れてはいけません」とあいさつしました。

魅力ある住みよい地域づくり をめざし西諸3市町が協定

10月1日、魅力ある住みよい地域づくりを目的に、小林市、えびの市、高原町で定住自立圏形成協定の調印式が行われました。これは、今後連携していく分野や役割を明示したものです。今後は、分野ごとに、取り組みなどを具体化する計画をつくり、実施していきます。



調印が終わり、手を合わせる3市町の市長。西諸地域の定住自立圏形成は、県内では4番目の取り組みです

玉太り、味ともに良好 新興・新高品評会

10月2日、NOSA I西諸で市果樹農業振興対策協議会とJA梨ぶどう生産部会による梨の品評会が開かれました。

【以下結果・優等および金賞のみ】

- ◆新興 協議会…永迫賢治
JA…小原修一
- ◆新高 協議会…小原修一
JA…小原修一



小原修一果樹農業振興対策協議会会長は「例年より玉太りが良く、味もいい。秋の味覚を堪能してほしい」と話していました。



須木の大自然の中、多くの家族連れが栗狩りを体験。鋭いイガに注意しながら、思い思いに栗を拾っていました

秋の味覚を求めて 須木で栗まつり開催

9月23日、すきむらんどと須木の栗園で栗まつりが開催されました。目玉の栗狩り体験では、市内外から訪れた参加者が生産農家5戸で、クリの収穫を堪能。すきむらんどではイガクリを的に投げて競うイガラックアウト、ステージイベントや物産展などがあり、多くの人で賑わいました。



毎年、陰陽石に奉納される東方輪太鼓踊り。今年は東方中学校の生徒13人が見事に踊り上げて、会場を沸かせていました

よろず生産の神を祭る祭典 陰陽石まつり開催

9月23日、こばやし陰陽石まつりが、陰陽石自然公園で開催されました。神事祭典では、新しい綱がかけられた陰陽石へ五穀豊穡を祈願。駐車場や運動場では、四半的弓道、綱引き大会やペタンクなどが行われ、ステージでは歌やダンス、舞踊などが披露されました。

小林中・須木中の3人が全国大会へ

10月2日、小林中の鎌田哲朗さん(砲丸投げ)、早田神龍さん(新体操)と須木中の富永彩織さん(ジャリックスロー)が市長を表敬訪問し、全国大会出場を報告しました。富永さんは「全国で自己新を目指したい」と意気込みを語りました。



各分野の教育について意見交換

10月4日、「夢と元気と勇氣ある小林教育の推進について」をテーマに、市長、副市長と教育委員や社会教育委員、スポーツ推進委員の意見交換会がありました。約40人が参加し、小林市の教育について活発に意見が交わされました。



グランドゴルフで公民館同士が交流

10月10日、市自治公民館対抗グランドゴルフ大会が生駒高原多目的グラウンドで開催されました。47チーム263人が参加。さわやかな秋晴れのもと、参加者はプレーを通じて親睦を深めていました。



和気あいあいと卓球バレーで交流

10月14日、県卓球バレー秋季大会が市民体育館で行われました。卓球バレーは、卓球台に6人1チームでイスに腰掛け、音の鳴るピンポンと木製のラケットを使用して、バレーボールのように打ち合うもの。参加者は笑顔で交流を深めていました。



シルバー人材センターが奉仕作業

10月20日、小林市シルバー人材センター会員による奉仕作業が行われました。会員ら約350人が参加し、21班に分かれてごみ拾いや除草作業などを行いました。また、翌21日には、シルバーフェスタが開催されました。



徘徊者役を見つけて声掛けをする様子

徘徊模擬訓練で地域の見守りと連携を確認

10月13日、徘徊模擬訓練が野尻町東麓地区でありました。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域住民や民生委員、消防団など約100人が参加。徘徊者役に対する住民の声かけ体験などを通し、認知症について理解を深めました。



講演した沖医師。「こども救急ガイド」は、保健センターなどで配布しています。●問：地域医療対策室 Tel 22-3008

もしもの時の受診の見極めにこども救急ガイドの活用を

10月20日、こども救急講座が文化会館で開かれました。西諸医師会の沖美和小児科医師が「こどもの急病に備える」と題して講演。症状別の対応も説明しながら「時間外受診の必要性も含め、この地域の特性を反映した『こども救急ガイド』を活用してほしい」と話していました。

食と命の大切さを学ぶ 市内小学生30人が農家民泊

市内の小学生30人が10月8日から1泊2日で農家民泊を行いました。西諸地区で農家民泊などを展開する北きりしま田舎物語推進協議会などが市食育推進委員会と協力して実施。児童は、自分たちで解体した烏骨鶏を焼き鳥で味わったり、農作物の収穫を体験するなどしました。



笑顔で柚子を収穫する児童

元気ハツラツで楽しく交流 高齢者のスポーツの祭典

10月16日、こばやし友愛クラブスポーツ大会が小林総合運動公園陸上競技場で開催されました。さわやかな秋晴れのもと、9地区団、約1,200人が参加。ビン倒しやゲートボールなどの競技が行われ、参加者は和やかに交流を深めていました。

【結果：▼優勝…三松地区団】



和やかな雰囲気にも、競技は真剣勝負。珍プレー、好プレーの連続に会場は大いに盛り上がりました



県内外の日級グルメや秋の味覚の屋台が並んだ会場。日が落ちてくると、来場者によってキャンドル、灯籠に火が灯されました

コスモスとキャンドルの競演 生駒高原でコスモスまつり

9月22日から10月28日にかけて、生駒高原でコスモスまつりが開催されました。100万本のコスモスが咲き誇った期間中に、約13万人が来場。10月の連休には、ライトアップされたコスモスと2万個のキャンドル、灯籠が会場を彩り、ステージイベントや打上花火なども行われました。



東方にある大丸太鼓橋(写真右上)は県内に現存するアーチ式石橋としては最古のものです

文化財である石橋アーチ橋を 学び、関連する本に親しむ

10月6日、「小林市の文化財探訪と読書」が開催されました。21人が参加し、文化財である石橋アーチ橋の東方大丸太鼓橋と永久井野石橋をガイドボランティアの説明を受けながら見学。その後、図書館で、橋や川、アーチなどにちなんだ本が図書館から紹介されました。